

床とフラットになった体組成計、 「NORNE」で毎日忘れず健康チェック。

01

体組成計の出し入れの面倒がないから続けられる

床下点検口に体組成計が一体化。今まで出し入れの必要があった体組成計が、常に目に入る生活動線上にあることで、毎日の健康チェックを習慣化できます。



■ 掃除も簡単！

通常の床に置く体組成計は、出しっぱなしだと掃除の邪魔に。NORNEは床とフラットなので掃除も簡単！また、簡単に体組成計を取り出せるので、ほこりが入り込んだとしても手軽に拭き掃除が行えます。

03

乗るだけでからだ全体をチェックできるから続けられる

乗るだけの手軽さで、体重・体脂肪率はもちろん、筋肉量や内臓脂肪レベルなど10項目の計測が可能です。

体組成計はTANITA製の
ハイスペックモデルを採用！

- ・医療・研究分野で使われている最先端の分析手法「4C法」を採用
- ・2つの周波数(デュアル周波数)で電気抵抗値を算出することで細胞レベルの分析が可能
- ・筋肉の量だけでなく、筋肉の【質】までチェックが可能

体重	体脂肪率	内臓脂肪レベル	筋肉量	筋質点数※	180kgまで 計測可能！
基礎代謝量	体内年齢	推定骨量	体水分率	BMI	

※「筋質点数」は株式会社タニタの登録商標です。



■ アプリとの連動で毎日の健康チェックがもっと楽しく

NORNEに乗るだけで、体重・体脂肪率・筋肉量や内臓脂肪レベルのチェックが可能に。さらに、専用アプリとの連動で、スマホで日々の測定データを管理できます。

専用アプリ



HealthPlanet
ヘルスプラネット

詳しくはこちら▶

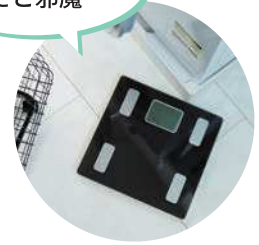


※連携条件や対応端末を事前にご確認ください。 ※「HealthPlanet」は株式会社タニタヘルスリンクの登録商標です。

毎日の健康チェックが続かないのは、ほんの少しの「面倒」が原因でした。

出し入れがめんどくさい

出しっぱなしだと邪魔



02

毎日の習慣に馴染むから続けられる

生活動線上に馴染む、床面と一体のフラット構造。生活リズムの中に自然と健康チェックを取り入れられます。



■ 毎日の習慣に馴染む、安定した歩行感



たわみづらいので、キシミやガタツキが生じず、床面との段差はわずか3mm以下。

家族の健康チェックも続けられる

日常生活の中で自然と計測できるから、お子様の健康チェックや成長を記録することも簡単にできます。愛犬などのペットも段差を気にすることなく、スムーズに体重がはかれます。

※体脂肪率、筋肉量は6才から計測が可能です。ペットは体重測定のみご利用いただけます。



毎日の健康チェックはこんなに大切

間違いのないからだづくりができる

脂肪が多すぎたり、筋肉が少なすぎるといった体組成のバランスが悪いと、生活習慣病や体調の乱れにつながります。体組成計を活用することで、体重計や体脂肪計では分らなかった「筋肉量の減少」や「基礎代謝量の減少」「内臓脂肪レベルの増加」などに気づくことができます。それらの変化に気づくことで、肥満や間違ったダイエットを防ぐことができます。



体組成計の正しい計測方法

運動後、入浴後は避ける

体に微弱な電流を流し、その抵抗値から筋肉量や体脂肪量を算出するため体温や水分の影響を大きく受けます。運動後や入浴後などは、体組成をはかるには適していません。

正しい姿勢で乗る

膝を曲げたり手や肩に力を入れて計測すると、電流の流れが変わり正しくはかることができません。膝を伸ばし、腕の力を抜き、腕を自然に下げましょう。

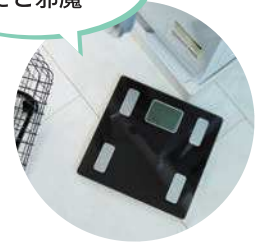
決まった時間に計測する

計測のタイミングや体調等によって電流の流れやすさに変動があります。計測は常に同じ時間・条件で行うことが大切です。

毎日の健康チェックが続かないのは、ほんの少しの「面倒」が原因でした。

出し入れがめんどくさい

出しっぱなしだと邪魔



02

毎日の習慣に馴染むから続けられる

生活動線上に馴染む、床面と一体のフラット構造。生活リズムの中に自然と健康チェックを取り入れられます。



■ 毎日の習慣に馴染む、安定した歩行感



たわみづらいので、キシミやガタツキが生じず、床面との段差はわずか3mm以下。

家族の健康チェックも続けられる

日常生活の中で自然と計測できるから、お子様の健康チェックや成長を記録することも簡単にできます。愛犬などのペットも段差を気にすることなく、スムーズに体重がはかれます。

※体脂肪率、筋肉量は6才から計測が可能です。ペットは体重測定のみご利用いただけます。



毎日の健康チェックはこんなに大切

間違いのないからだづくりができる

脂肪が多すぎたり、筋肉が少なすぎるといった体組成のバランスが悪いと、生活習慣病や体調の乱れにつながります。体組成計を活用することで、体重計や体脂肪計では分らなかった「筋肉量の減少」や「基礎代謝量の減少」「内臓脂肪レベルの増加」などに気づくことができます。それらの変化に気づくことで、肥満や間違ったダイエットを防ぐことができます。



体組成計の正しい計測方法

運動後、入浴後は避ける

体に微弱な電流を流し、その抵抗値から筋肉量や体脂肪量を算出するため体温や水分の影響を大きく受けます。運動後や入浴後などは、体組成をはかるには適していません。

正しい姿勢で乗る

膝を曲げたり手や肩に力を入れて計測すると、電流の流れが変わり正しくはかることができません。膝を伸ばし、腕の力を抜き、腕を自然に下げましょう。

決まった時間に計測する

計測のタイミングや体調等によって電流の流れやすさに変動があります。計測は常に同じ時間・条件で行うことが大切です。